

むつ小川原開発地区 立地動向メモ

2016年6月10日（最終更新日2019年2月22日）



目次

むつ小川原開発地区への立地動向概括	03
別表 むつ小川原開発地区への立地動向	04
参考 むつ小川原開発地区への立地動向	08

MO地区への投資総額*は2000年から現在までで約1,200億円を超える見込み。約20年の投資動向について、便宜的に二分して第Ⅰ、Ⅱ期として概括すれば以下のとおり。

第Ⅰ期(2000-2009年)においては風力発電施設が立地。風力発電に適した下北半島の地形や風況に加え、既にMO地区に整備されている電力、道路、港湾等のインフラ環境が評価されたもの。

第Ⅱ期(2010-現在)においては技術産業の集積の進行に特徴。有機EL照明やタッチパネル製造などの先端産業の製造工場が進出したほか、風力発電トレーニングセンターも建設。また、ITER計画**に基づく研究施設の建設も進められた。

また、この間、自然エネルギーの活用や人材育成に傾向がシフト。広大な土地を利用したメガソーラーならびに、冷涼な気候を利用した超省エネルギー型データセンターが実現。量子科学分野の人材育成・研究開発拠点施設である青森県量子科学センターは原子力産業の集積する立地環境によるもの。

今後も陸上および洋上の風力発電施設の建設等が予定されている。低炭素社会構築のモデル事業としてもMO地区へのさらなる投資の促進への期待は高い。

なお各事業の詳細については、次ページ以降の別表資料を参照。

* 公共投資、日本原燃(株)、立地企業の更新投資情報を含まない。

** ITER= International Thermonuclear Experimental Reactor (国際熱核融合実験炉)

別表 むつ小川原開発地区への立地動向(主な案件) ――第Ⅰ期

	操業開始	施 設	事業主体	概 要	事業費
第Ⅰ期	2000年8月	大規模花卉工場	(株)トヨタフローリテック	現(株)フローリテックジャパンの前身	—
	2001年7月	液晶製造工場	エーアイエス(株)	—	—
	2002年	—	—	—	—
	2003年1月	むつ小川原ウィンドファーム ※1  写真：エコ・パワー(株)提供	エコ・パワー(株) コスモ石油グループ会社	風力発電機：1,500kW×21基 発電出力：31,500kW	58億円 ※2
	2004年10月	先端分子生物科学研究センター※3  写真：当社撮影(2006年9月)	公益財団法人 環境科学技術研究所	公益財団法人 環境科学技術研究所(1990年設立)の施設	—
	2005年	—	—	—	—
	2006年9月	有機EL製造工場	東北デバイス(株)	—	—
	2007年	—	—	—	—
	2008年5月	蓄電池施設(二又風力発電所) ※4  写真：当社撮影(2011年8月)	二又風力開発(株) 日本風力開発(株)グループ会社	風力発電機：1,500kW×34基(地区外) NAS電池：2,000kW×17ユニット 世界初の大容量蓄電池併設風力発電施設	220億円 ※5
	2009年	—	—	—	—

施設概要は全て2019年2月時点の情報

※1 出典(事業費除く)：『世界に貢献する「科学技術創造圏」むつ小川原開発地区』青森県、2018年10月、p.16

※2 出典(事業費)：「日本政策投資銀行、日本最大の風力発電所建設事業に 新エネルギー開発融資を実施 ～エコ・パワー（株）による「むつ小川原ウィンドファーム」建設事業～」日本政策投資銀行ホームページ、<https://www.dbi.jp/news/archive/rel2000/0328-1.html>(2019年2月20日参照)

※3 出典：「沿革」公益財団法人 環境技術研究所ホームページ、http://www.ies.or.jp/profile_i/profile103.html(2019年2月21日参照)

※4 出典(事業費除く)：『世界に貢献する「科学技術創造圏」むつ小川原開発地区』青森県、2017年10月、p.16

※5 出典(事業費)：「再生可能エネルギーの接続可能量の算定方法に関する基本的考え方について(案)(前回の議論を踏まえた見直しと接続可能量の拡大方策)」経済産業省ホームページ
http://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/shoene_shinene/shin_energy/keito_wg/pdf/002_01_00.pdf(2019年2月21日参照)

別表 むつ小川原開発地区への立地動向(主な案件) ――第Ⅱ期

	操業開始	施 設	事業主体	概 要	事業費
第Ⅱ期	2010年3月	国際核融合エネルギー研究センター ※1  写真：当社撮影(2010年8月)	国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 (旧国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構)	施設：管理研究棟、原子炉R&D棟、 計算機・遠隔実験棟、 IFMIF/EVEDA開発試験棟 設備：スーパーコンピューターなど 「ITER計画への支援と次世代炉である原型炉に向けた先進的研究開発に取り組む 「幅広いアプローチ(BA:Broader Approach)活動」の国際研究拠点」	—
	2010年8月	風力発電トレーニングセンター ※2  写真：当社撮影(2015年5月)	イオスエンジニアリング&サービス(株) 日本風力開発(株)グループ会社	日本初の風力発電メンテナンス要員育成施設 「風車実機を改造したトレーニングシステム等による研修で、技術向上を図っている」	—
	2010年9月	有機EL照明デバイス製造工場 ※3  写真：当社撮影(2011年8月)	OLED青森(株) (株)カネカ グループ会社	従業員数：96名(2018年4月現在)	—
	2011年12月1日 ※4	タッチパネル製造工場 ※5  写真：当社撮影(2017年9月)	(株)ANOVA (株)翔栄 グループ会社	従業員数：145名(2018年3月31日現在) 主要品目：液晶カラーフィルター加工、 タッチセンサーパネル、有機EL用バックプレーンなど	—
	2012年	—	—	—	—

施設概要は全て2019年2月時点の情報

※1 出典：『世界に貢献する「科学技術創造圏」 むつ小川原開発地区』青森県、2018年10月、p.13
 ※2 出典：同上、p.16
 ※3 出典：同上、p.18
 ※4 出典(操業開始)：「代表取締役ご挨拶」(株)ANOVAホームページ、<http://anova.jp/index.html> (2019年2月14日参照)
 ※5 出典(操業開始除く)：「会社概要」(株)ANOVAホームページ、<http://anova.jp/profile.html> (2019年2月14日参照)

別表 むつ小川原開発地区への立地動向(主な案件) ――第Ⅱ期

	操業開始	施 設	事業主体	概 要	事業費
第Ⅱ期	2013年9月5日	エネワンソーラーパーク六ヶ所村 ※1  当社撮影(2013年8月)	エネワンソーラーパーク六ヶ所村 共同事業体 (株)サイサン・森和エナジー(株)	敷地面積 : 5.3ha 太陽電池出力: 2,293.76kW 系統接続発電容量: 2MW 「一般家庭650世帯分の年間消費電力に相当 ※2」	7~8億円 (投資額) ※3
	2014年	大規模花卉工場 ※4  当社撮影(2009年12月)	(株)フローリテックジャパン (p.4参照)	温室面積: 約2万㎡(88m×231m) 生産能力: 約400万鉢/年	—
	2015年10月1日	ユーラス六ヶ所ソーラーパーク ※5 ・鷹架地区  ・千歳平北地区(地区外)  写真: 青森県提供	(株)ユーラス六ヶ所太陽光 (株)ユーラスエナジー ホールディングス グループ会社	敷地面積 : 253ha 太陽電池出力: 148,000kW 系統接続発電容量: 115,000kW 「総発電量は一般家庭の約3万8,000世帯が消費する電力量に相当」	490億円 ※6

施設概要は全て2019年2月時点の情報、斜体で記載の事業費は見込み

※1 出典: 「エネワンソーラーパーク六ヶ所村」森和エナジー(株)ホームページ、http://shinwa-energy.co.jp/plants/esp_rokkasho.html (2019年2月20日参照)

※2 出典: 『六ヶ所村次世代エネルギーパークガイドブック』六ヶ所村、2017年3月、p.11

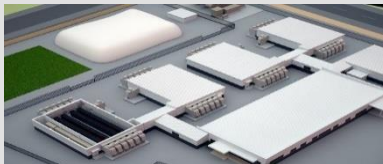
※3 出典(事業費): 「六ヶ所にメガソーラー 埼玉の企業出力2千キロワット 来夏の稼働目指す」『デーリー東北』2012年8月2日付朝刊

※4 出典: 「フローリテックジャパンとは」(株)フローリテックジャパンホームページ、<http://www.floritechjapan.com/gaiyou.html> (2019年2月21日参照)

※5 出典(事業主体、事業費除く): 「国内最大規模の太陽光発電所営業運転開始」ユーラスエナジーホールディングスホームページ、<http://www.eurus-energy.com/press/index.php?pid=70> (2019年2月21日参照)

※6 出典(事業主体、事業費): 「国内最大級ソーラー着工」『東奥日報』2013年8月30日付朝刊

別表 むつ小川原開発地区への立地動向(主な案件) ―第Ⅱ期

	操業開始	施 設	事業主体	概 要	事業費
第Ⅱ期	2016年1月30日	寒冷地型エクストリームデータセンター ※1 	青い森クラウドベース(株)	敷地面積：1.2ha 施設：鉄骨造1階建80ラック単位で増設可能なモジュラー設計、間接外気冷房+雪氷冷房のハイブリッド空調方式など ※2	―
	2017年2月1日	上北六ヶ所太陽光発電所 ※3  写真：当社撮影(2016年9月)	未来創電上北六ヶ所(株) 双日(株) 100%出資子会社	敷地面積：143ha 太陽電池出力：71MW 系統接続発電容量：51MW 一般家庭約13,300世帯の年間使用量分を発電	230億円 ※4
	2017年10月	青森県量子科学センター ※5  写真：青森県提供	青森県	施設：研究棟、RI棟、研修棟、機械電気棟 設備：サイクロン加速器、中性子ラジオグラフィ撮影装置、PET/CT装置、材料試験装置、化学分析装置など	56億円 ※6
	2018年2月1日	横浜町雲雀平風力発電所 ※7	よこはま風力発電(株)	風力発電機：2.3MW×14基(地区外) 発電出力：32.2MW(鉛蓄電池併設) 「年間予想発電量は一般家庭の約1万5,000世帯分に相当」 変電所が当地区内に立地	140億円 (建設費) ※8
事業費計(公表分のみ、見込み含む)					約1,200億円

※1 画像出典：松下泰之「データセンターでは世界初の雪氷冷房「青い森クラウドベース」、青森でのビジネス展望を語る。」

施設概要は全て2019年2月時点の情報、斜体で記載の事業費は見込み

『Think IT』2015年5月27日、<https://thinkit.co.jp/story/2015/05/27/6036>(2019年2月14日参照)

※2 出典：「事業概要」青い森クラウドベース(株)ホームページ、http://aoimoricb.co.jp/business_summary/(2019年2月12日参照)

※3 出典(事業費除く)：「双日、青森県上北郡六ヶ所村にて太陽光発電所を竣工、商業運転を開始」双日(株)ホームページ、<https://www.sojitz.com/jp/news/2017/05/20170511.php>(2019年2月20日参照)

※4 出典(事業費)：「六ヶ所にメガソーラー」『デリー東北』2013年8月9日付朝刊 ※5 出典(事業費除く)：『世界に貢献する「科学技術創造圏」むつ小川原開発地区』青森県、2018年10月、p.14

※6 出典(事業費)：「青森県量子科学センターが稼働、六ヶ所村」『日本経済新聞』(電子版)、2017年10月7日 2:00、<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO21988100W7A001C1L01000/>(2019年2月21日参照)

※7 出典(事業費除く)：「青森県横浜町で 32.2MW「横浜町雲雀平風力発電所」が運転開始」日立キャピタル株式会社ホームページ、<http://www.hitachi-capital.co.jp/hcc/newsrelease/2018/20180201.pdf>(2019年2月15日参照)

※8 出典(事業費)：「青森県横浜町 町の出資するSPCを創設し、専門家との連携により身の丈を踏まえながら戦略的な取組を目指す」農林水産省ホームページ、

http://www.maff.go.jp/j/shokusan/renewable/energy/attach/pdf/kihon_keikaku-12.pdf(2019年2月15日参照)

参考 むつ小川原開発地区への立地動向(主な案件) ――第Ⅱ期

	操業開始	施 設	事業主体	概 要	事業費
第Ⅱ期	未定	上北小川原風力発電施設(仮称) ※1	(株)大林組	風力発電機：3,400～3,600kW × 最大 6 基(地区外) 発電出力 ：最大21,600kW 変電所が当地区内に立地予定	—
	未定	むつ小川原風力発電施設(仮称) ※2	日立造船(株)	発電出力 ：57,000kW	—
	未定	むつ小川原港洋上風力発電施設(仮称) ※3	むつ小川原港洋上風力開発(株)	風力発電機：2,500kW～級 × 32基程度 発電出力 ：最大80MW	300億円 ※4

施設概要は全て2019年2月時点の情報、斜体で記載の事業費は見込み

※1 出典：「上北小川原風力発電事業に係る環境影響評価準備書に対する環境大臣意見の提出について」環境省ホームページ、<http://m-powd.jp/plan> (2019年2月21日参照)

※2 出典：「最近の審査状況（風力）」経済産業省ホームページ、http://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/safety_security/kankyo_shinsa/pdf/29_01_02_02.pdf (2019年2月21日参照)

※3 出典(事業費除く)：「事業計画」むつ小川原港洋上風力(株)ホームページ、<http://m-powd.jp/plan> (2019年2月20日参照)

※4 出典(事業費)：「青森県六ヶ所村に洋上風力発電建設へ 出力計8万キロワット」『日本経済新聞』(電子版)、2013年7月30日

https://www.nikkei.com/article/DGXNASDD300EU_Q3A730C1TJ1000/ (2019年2月12日参照)

当資料は、新むつ小川原株式会社により作成されたものです。

- ・当資料は、情報提供を目的として作成されたものであり、取引等を勧誘するものではありません。
- ・当資料は当社が信頼できると思われる情報に基づき作成しておりますが、当社がその内容の正確性、実現性を保証するものではなく、情報に誤り等があった場合に当社は何らの責任を負うものではありません。
- ・当資料の著作権は新むつ小川原株式会社又は他の権利者に帰属します。著作権法で認められる場合を除き、許可なく利用することはできません。当資料を引用する場合は当社までご連絡ください。
- ・出典が記載されているデータ・図表等については出典元へ直接お問い合わせください。
- ・当資料に記載されている内容は、当社の都合により、予告なしに変更される場合があります。
- ・当資料の利用に関し生じたトラブルや損害等について、当社は何ら責任を負わないものとします。

当資料の利用に関するお問い合わせ先

新むつ小川原株式会社 E-mail : info@shinmutsu.co.jp

DISCUSSION PURPOSE ONLY